

# 2022年度 事業計画書

期間：2022年4月1日～2023年3月31日

一般社団法人 B-BALLY'd

代表理事 須田将広

法人事業全体として、2022年度の計画は2023年度の円滑活動につなげる内容にする。デフがバスケットボール競技を有利に進められる環境を研究するべく、視覚言語と身体言語を追求したサイン・バスケットボールの競技化を含め方法を模索していく。

- Zoom 活用を含めた定期練習会の月4回開催の更なる定着化（継続）
- 定期練習会を見てくれるコーチの確保（継続・優先度高）
- ビバリード専属の手話通訳者の確保と育成（継続）
- SNSなどのアプリを活用した情報発信方法の開拓・拡張（継続）
- ビバリード主催の外部講師クリニックの拡張（継続）
- 視覚言語と身体言語を追求しサインバスケットボール競技への道筋を模索（新規）

## 1. 事業

- a) 定期練習会を月4回で開催する
  - i.拠点である枚方市以外の実施場所を増やす（京都、大阪、奈良に加え貝塚を予定）
  - ii.可能な限り、障害者施設の利用を増やす（奈良、大阪舞洲など）
  - iii.状況に応じて、Zoom オンライン講習会を実施する
  - iv.状況に応じて、クロストレーニングを実施する
- b) 広報活動
  - i.ホームページの更新、記事を投稿
  - ii.広報アンバサダーによる SNS 発信
  - iii.LINE のオープンチャットによる内部連絡網の活用
  - iv.会員数30人以上が目標
- c) ビバリードの専属コーチ、専属手話通訳者の確保
  - i.定期練習会を見てくれるコーチを確保する（募集方法などは検討が必要）
  - ii.手話通訳者の確保
  - iii.コーチの育成は来年度に持ち越す（準備は進めていく）
- d) 枚方市障害者社会参加促進事業スポーツ講習会へ協力
  - i.今年度の枚方市イベントに参加する（詳細は別途）
- e) 体験会の開催
  - i.会員数を増やすための活動（デフスポなどのイベントを活用）
  - ii.遠方からの参加者が来やすくするため、休日の体育館を活用する
- f) サインバスケットボール競技の探求
  - i.サインバスケットボールを説明できる資料を作成する

ii.JDBA と業務委託契約を締結し、サインバスケットボールの考え方を共有する

## 2. 活動資金

- a) 募金
  - i.ソフトバンク様の繋がる募金に申し込む（設立1年以上が条件のため）
  - ii.障害者施設などに募金箱を設置する（奈良市総合福祉センター相談中）
- b) スポンサー
  - i.北河内周辺の企業などに団体の説明と活動のビラ作成、スポンサー集めを実施
  - ii.障がい者向けCSRを重視している企業に積極的に連絡を取る
- c) 助成金
  - i.各助成金団体の募集期間を確認しながら、積極的に申し込みを実施する
  - ii.実績の積み重ねがわかるように常に情報を発信する（ホームページ、SNS など）
- d) その他
  - i.北河内周辺にある市役所、教育委員会など含む主要企業へ後援を依頼

以上